

新校舎・仮校舎の整備内容及び工事費用の精査

資料 1 のとおり、統合検討会議でいただいた意見を踏まえ、仮校舎及び新校舎の平面計画について検討し、これらを具現化するために必要な予算額（工事費）を推計したところ、昨今の建築業界における資材価格や人件費の高騰、人手不足等により、学校施設長寿命化計画の策定時の額を大きく超えることが判明し、工事費の精査が必要となった。

このことから、以下のとおり、整備内容や工事費用を精査した。

1 整備内容及び工事費用 精査のポイント

● 仮校舎

- ・ 資料 1 のとおり、令和 8 年 4 月の仮校舎使用時から、第七小学校と第九小学校を統合することにより、新校の仮校舎は、既存の第九小学校校舎の共用が図られることで、新たに増築する校舎が必要最小限となる。（仮校舎の延べ面積の縮減）
- ・ 九小の校庭に増築する仮校舎は、安全面・利用面の観点から「平屋」とする。
- ・ 仮校舎の平面計画（案）は、資料 4 のとおり。

● 新校舎

- ・ これまで検討していた諸室面積について、東大和市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 2 月）における施設更新費用の財源不足を解消するための取組（施設総量（延べ面積）の縮減）を踏まえ、以下のとおり調整した。
- ・ 3 階西側校舎に諸室の配置を想定していたが、校舎の配置調整（北側校舎を現第七小学校の校舎よりも南に配置）により、その分を北側校舎に移動することが可能となり、西側校舎に配置した場合の廊下面積を縮減。これにより、校舎北側のエントランスと駐車スペースを広く確保できる。
- ・ 統合時、一時的に既存の学童保育所第七クラブを併用することを想定し、新校舎の学童保育所面積を縮減。
- ・ 特別教室を使用実態に即した大きさに見直し、面積を縮減。
- ・ 新校舎の平面計画（案）は、資料 5 のとおり。

2 統合新校（新校舎・仮校舎）建設 概算工事費用

（1）概算費用

前頁の精査を踏まえた概算工事費用は以下のとおりである。

※現時点の概算である。工事に当たっては、設計の段階で精査していく。

種別	建設場所	工事内容	延べ 面積 (㎡)	工事費用（概算）	
				税抜（円）	税込（円）
仮校舎 （一部増築）	現第九小学校 の校庭内	建築工事、外構 工事＋解体工事	1,500	493,000,000	542,300,000
新校舎	現第七小学校 の敷地内	既存七小校舎解 体工事、建築工 事、外構工事	7,800	3,799,000,000	4,178,900,000
				合計	4,721,200,000

（2）その他事項

工事費用の財源の確保に当たっては、学校整備に対する国庫補助や、その他活用可能な補助金等、特定財源を最大限活用できるよう、調査・研究を進める。